

パリ市内の北。モンマルトルの丘に建つ「聖なる心」を意味するサクレ・クール寺院。そこに至るまでのアプローチが見事であった。最寄のメトロから徒歩。両側に迫る建物を横目に細い路地をすり抜けていく。この界隈は布地を扱う店が軒を連ね、極彩色豊かな布地が、道いっぱい並び通りを染めている。次々に展開する路地を進むと、サクレ・クール寺院のシルエットが飛び込んでくる。今までの絢爛豪華に見えた布地デパートとは対照的に、無彩色の控えめな寺院。装飾がさほど見受けられず、それがシルエットをより際立たせている印象を受けた。

廻りの環境も静寂で、丘に敷かれた階段でくつろぐ人々を眺めていると、パリ中心部の空気とはまた違った雰囲気であった。

サクレ・クール寺院内にあるモザイク画・パリ市内の眺望も見事であった。

メトロからのアプローチ・環境を支配する独特の空気・寺院のシルエット・モザイク画・パリのパノラマが心に残った。

